

6. 事業内容	(今次期間活動内容) <u>活動 0. プロジェクトマネジメントに係る活動</u> - 合同終了時モニタリング・評価を開催する <u>活動 1. シッダールタ母子病院周産期病棟建設に係る活動</u> - プロジェクト調整員会による建設後のモニタリングを行う - 完成式典を開催する <u>活動 2. 資機材投入に係る活動</u> - 資機材調達に係る入札を行う（追加） 【追加理由】資機材が多種にわたるため、個別に見積書を取得し調達するのではなく、一般公募入札を通じた効率的かつ総合的な調達を実施することになったため - 投入資機材を購入・設置する - 投入資機材の利用研修を開催する - 医療機器メンテナンス担当者が技術研修を受講する（追加） 【追加理由】資機材の中には精密かつ高価な医療機材も含まれており、通常行われる引き渡しの際の「説明」だけでは不十分であり、適切に維持管理するための研修を特別に開催する必要があると判断したため - 投入資機材の利用状況に係るモニタリングとメンテナンスを実施する <u>活動 3. 人材育成に係る活動</u> - 病院周産期医療従事者が「Mother-Friendly」のコンセプトの下でスキルアップ研修を受講する - 上記研修参加者が、他のスタッフに対して行うフィードバックワークショップのサポートを行う - 日本人医療従事者が技術研修を実施する <u>活動 4. 広報に係る活動</u> - 事業・病院広報資料を作成する - 広報資料を配布する - 近隣郡の公立保健施設や医療従事者を対象に、新サービス及びリファラル（搬送）体制に係る説明会を実施する（追加） 【追加理由】同病院には、ルパンデヒ郡から 200～300Km 離れたグルミ郡、アルガカチ郡やピュータン郡等の山岳地域からの患者も搬送されてくる。搬送元となる同郡の公立病院等を対象に、新サービス開始の周知を行うと共に、患者を的確に搬送するためのリファラル経路・連絡体制等について啓発を行うことを目的とする。
---------	---

7. これまでの成果、課題・問題点、対応策など	①これまでの事業における成果（実施した事業内容とその具体的成果） <u>活動0. プロジェクトマネージメントに係る活動</u> - 関係者によるプロジェクト調整委員会を設立する 2011年5月に設立。2012年8月末までの期間に、48回の委員会会議を開催し、これにおけるメンバー参加率は83.73%であった。 - 事業内容・計画を最終調整する プロジェクト調整委員会が中心となり、事業進捗状況のモニタリングならびに2期目の活動内容協議を行った。また2012年9月には、日本人事業評価専門家を投入し、今次期間の活動内容について最終調整を行った。 - 関係者による合同モニタリング・評価を開催する（2012年11月に実施予定） <u>活動1. シッタールタ母子病院周産期病棟建設に係る活動</u> - 関係者による建設委員会を設立する 2011年4月に設立。2012年8月末までの期間に11回の委員会会議を開催した。 - 建設に係る入札を行う 2011年7月中旬に入札が終了した。 - 周産期病棟を建設する 2011年7月下旬に施工を開始した。2012年11月中旬に完成する見込み。 - 污水处理施設を建設する（2012年8月24日付変更承認済み） 2012年9月下旬に建設を開始し、2012年11月中旬に完成する見込み。 - プロジェクト調整委員会による建設モニタリング 現地建設コンサルタントを定期的に建設サイトに派遣することで、進捗状況を詳細に把握し、問題に適時対応できる体制の構築に努めた。 <u>活動2. 資機材投入に係る活動</u> - 投入資機材内容の最終調整を行う プロジェクト調整委員会が中心となり、必要資機材の精査と調達方法について協議を行った。2012年9月には日本人周産期医療専門家を投入し、病院の医療サービスの現状に鑑み、投入予定資機材の妥当性を確認した。 <u>活動3. 人材育成に係る活動</u> - “Mother-Friendly”のコンセプトが策定される 2011年7月に、病院医療従事者（医師、看護師）を中心に、病院として目指す”Mother-Friendly”のコンセプトを策定した。またその後、同コンセプトに基づいてサービスの現状を評価するため、患者や家族に対するインタビュー調査を行った（妊産婦検診受診者50名、出産した妊婦及びその家族151名を対象）。その結果、病院が提供しているサービスに対し、「概ね満足」とする回答が大半を占めるものの、以下の点
--------------------------------	--

について改善が求められた。

- ✓ 出産介護時のプライバシー確保のための工夫
- ✓ 医療スタッフ引き継ぎ時における情報伝達の徹底
- ✓ 患者及びその家族に対する看護師の態度
- 病院周産期医療従事者が” Mother-Friendly” のコンセプトの下でスキルアップ研修を受講する

病院周産期医療従事者 17 名が以下 6 種の研修に参加した（一部未受講）

研修内容	参加者人数
SBA 研修	看護師（6 名）
NICU モニタリング研修	医師（2 名）
NICU 研修	看護師（4 名）
NICU リフレッシュ研修	医師（2 名）：2012 年 10 月実施予定
CAC 研修	医師（1 名）、看護師（1 名）：2012 年 11 月実施予定
術中マネジメント研修	看護師（1 名）：2012 年 10 月実施予定

活動 4. 広報に係る活動

- 事業・病院広報資料を作成する
看板、パンフレット等の広報ツールを作成。2012 年 11 月以降配布予定。

②これまでの事業を通じての課題・問題点

2012 年 5 月に予定されていた制憲期日前後の数か月にわたり、ネパール国内の政情が不安定化し、ストライキ等が多発したことにより、人的・物的資源の確保が難しくなり、建設作業に遅れが生じた。

③上記②に対する今後の対応策

現地建設コンサルタントによってワークプランが組み直され、建設業者に対して作業効率の向上を促した。